

- 主な ICT 関連製品の世界に対する日本のシェア

市場シェアは、北米が 5 割強、欧州が 2 割強、日本及びアジア太平洋地域が各々 1 割強、その他が 1 割弱で、平成 20 年時点からこの傾向に大きな変化はない（図 1-4、図 1-5）。

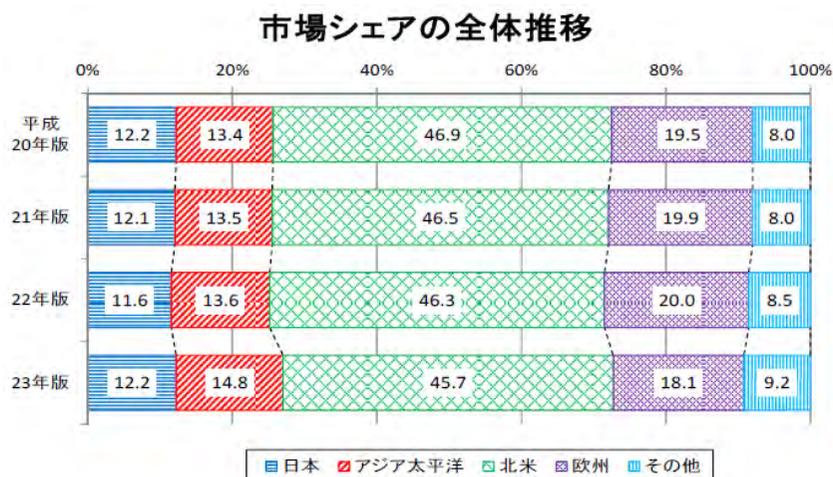


図 1-4：市場シェア及び輸出額シェアの全体推移

※金額ベースで 4 年分を把握できる 33 品目で市場シェアを算出。（具体的には、21 年版から追加した「ミニノート PC」並びに数量ベースで把握している「携帯電話」、「DVD/Blu-ray レコーダ」及び「光ファイバ」を除く。）

（出典）総務省「平成 23 年版 ICT 国際競争力指標」（平成 23 年 7 月）

[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000121696.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000121696.pdf)

	サービス	端末・機器	デバイス	
			通信ケーブル/半導体デバイス	ディスプレイデバイス
通信	<ul style="list-style-type: none"> <li>■家庭向け固定通信サービス</li> <li>■企業向け固定通信サービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■携帯電話機</li> <li>■モバイルインフラ</li> <li>■光伝送システム</li> <li>■LANスイッチ</li> <li>■企業向けルータ</li> </ul>		
情報システム/サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■システム開発</li> <li>■コンサルティング</li> <li>■システム運用管理</li> <li>■IPO</li> <li>■ハードウェア製品サポート</li> <li>■ソフトウェア製品サポート</li> <li>■アプリケーション/ソフト</li> <li>■インフラ/ソフトウェア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■デスクトップ PC</li> <li>■ノート PC</li> <li>■ミニノート PC</li> <li>■ワークステーション</li> <li>■サーバ</li> <li>■ストレージ (RAID)</li> <li>■コピー機</li> <li>■プリンタ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;通信ケーブル&gt;</li> <li>■光ファイバ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■携帯電話用液晶ディスプレイ</li> <li>■PC用液晶ディスプレイ</li> <li>■テレビ用液晶ディスプレイ</li> <li>■プラズマディスプレイ</li> </ul>
放送/メディア	<ul style="list-style-type: none"> <li>■放送/メディアサービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■液晶テレビ</li> <li>■プラズマテレビ</li> <li>■DVD/Blu-rayレコーダ</li> </ul>		

図 1-5：対象とした市場シェアの構成

※「通信」、「情報システム/サービス」及び「放送/メディア」の 3 分野による区分、「サービス」、「端末・機器」及び「デバイス」の 3 つのレイヤによる区分を基に主要サービス、製品を 8 分野、37 品目に分類。